

町民の声 「ふれあいいいききサロン」

地域住民の「居場所」と「要場所」づくり

久来石区 相楽 榮子



(さがら えいこ) 相楽 榮子 さん

鏡石町の皆様、「誰もが安心して暮らしていけるようなまちづくり」をめざしましょう。「地域福祉は福祉教育ではじまり、福祉教育で終わる。」と先人たちは語り継いできました。最初の福祉教育は、「啓発や広報」であり、後半の福祉教育とは、地域福祉は地域福祉を推進する一人ひとりの主体形成のことを言っています。町民の一人ひとりがそうした意識を高めていくことで、地域社会の福祉観を変えていくことができると思っています。鏡石町では、現在6行政区で「ふれあいいいききサロン」を実施していま



サロン「てんさくせんたー」(鏡石区)

す。準備、片付けは互いに助け合い協力し、今ではすっかり地域に根付き、毎回、ゲーム、カラオケ、おしゃべり、学びの場であったりと計画的に行い、「お互い様」と感謝しあえるような、豊かな人間関係となつていっています。私、ここで提言させていただきます。0歳から百歳までの誰もが気軽に交流できる場に「いいききサロン」を各行政区に於いて開設できますよう推進いたします。立ち上げに当たっては、町社協に申請し助成が受けられます。先ずは無理のない範囲内で実施すれば継続可能かと思えます。久来石区民もサロンに取り組みましよう。高齢者にとつては、種々困難が生ずることと思いますが、実施しながらクリアしていきましょう。どうしても無理な点については、ご負担になると思いますが、



産業厚生常任委員会視察 児童館

前号の町民の声で子どもの遊び・交流の場「屋内施設」の設置のご意見が寄せられたため、産業厚生常任委員会で、3月9日(木)所管事務調査で議題として取り上げ、児童館を現地調査しました。これからも、町民の声にこたえる「開かれた議会」を目指します。



「町民の声」にこたえて

編集後記

今年度は、鏡石町第5次総合計画の後期計画の初年度であり、町制施行55周年の記念すべき年でもあります。これら重要な時期にあたり、執行、議会の力量が問われる年でもあります。二元性代表者としての議会の一員として、執行機関の行財政運営等が、適法、適正、公平、効率的、民主的になされていくかどうかを住民の立場に立って監視していきたいと思えます。

町民の皆様も、以前にも増して議会傍聴においていただき、忌憚のない意見を賜りますよう、議会一同お待ち申し上げます。

- 発行責任者 渡辺 定己
 議長 小林 政次
 副議長 木原 秀男
 委員 橋本 喜一
 委員 古川 文雄
 委員 菊地 洋
 委員 長田 守弘



▲緊張、緊張でカチカチ (鏡石中学校)

期待に胸膨らませ

4月6日(木)町内の小、中学校で入学式が行われました。晴れの制服、大きなランドセル。新一年生の表情は自信に満ちあふれ、そのまなざしは真っ直ぐ前を見据えています。復興、そしてその先の未来へ。次代を担う子どもたちが今、新たな一歩を踏み出しました。



▲大きな声で ハイ! (第二小学校)



いっぱいの風船に囲まれて (第一小学校)

かがみいし 議会だより

No.164
 平成29年5月
 発行 福島県鏡石町議会
 編集 議会広報編集委員会
 〒999-0407 福島県岩手郡鏡石町 不時沼345
 電話0248(62)2110
 印刷 (南) 永山印刷

29年度予算は復興から進化へ軸足移す

平成29年度の予算総額は、一般会計と10特別会計の合計で前年度より引き続き100億円台となり、前年比3.1%増の103億1,740万円となりました。また、一般会計も前年同様50億円台となり、前年比2.7%増の59億5,500万円となりました。

平成29年度各会計当初予算 (単位：万円)

会計区分	29年度	28年度	増減率(%)	
一般会計	595,500	580,000	2.7	
国民健康保険特別会計	165,030	165,260	△0.1	
後期高齢者医療特別会計	9,571	9,641	△0.7	
介護保険特別会計	88,200	82,300	7.2	
土地取得事業特別会計	3,004	3,002	0.1	
工業団地事業特別会計	10,510	4,700	123.6	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	19,200	16,400	17.1	
育英資金貸付費特別会計	812	843	△3.7	
公共下水道事業特別会計	49,980	48,240	3.6	
農業集落排水事業特別会計	7,500	6,880	9.0	
小計	949,307	917,266	3.5	
水道事業会計	収益的	27,367	24,354	12.4
	資本的	55,066	58,700	△6.2
	計	82,433	83,054	△0.7
合計	1,031,740	1,000,320	3.1	

2年連続 100億円台に

平成29年度の予算を決定する第7回鏡石町議会定例会は、3月6日(月)に開会。議員発議を含む全30案件を審査議決し、3月17日(金)に閉会しました。

今回の定例会では、右表のとおり百億円を超える大型予算を議決しましたが、対前年比では3.1%増、一般会計

も昨年同様50億円台で、対前年比2.7%増となりました。震災復旧での大型事業が終了したものの、復興から進化へ積極的に軸足を移す予算額といえます。

全体で百億円を超えた主な要因は、新規事業の道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業で354,633千円、認定こども園整備事業で146,727千円、中学校校庭防球ネット整備事業で79,000千円などがあげられます。

また、今年は町制施行55周年の記念の年となることから、記念式典をはじめ、全国あやめサミットなどの記念事業が計画されており、その関連予算も計上されています。

平成29年度予算については、予算審査特別委員会(橋本喜一委員長)の審査報告を受け、定例会最終日に、一般会計をはじめとする10会計とも原案どおり可決しました。



本会議

現任教員を指導 主事として採用

今定例会には、人権擁護委員の任期満了に伴う再任について意見を求める諮問1件、教育委員会事務局へ県の教員を指導主事として割愛採用するための、給与規定を定める条例案1件、まちの駅「かんかん館」の開設準備に伴うコミュニティ・センター会議室の使用料規定を改正するなど、条例改正案5件、国道4号線拡幅工事に伴い、南部第一工業団地敷地の一部売却について議決を求めるもの1件、議員発議による地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案1件が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

予算審査特別委員会設置 一般会計外10会計を審議

平成29年度予算の審査では、渡辺議長を除く11名の議員で「予算審査特別委員会」を設置。委員長に橋本喜一議員、副委員長に菊池洋議員を選出しました。

第7回定例会会期中の予算

審査は3月10日(金)から土曜日を除く14日(火)までの3日間開かれ、一般会計外10会計を審査しました。

各会計の予算審査は事業の担当課別に審査を行い、会期最終日の3月17日(金)の本会議において、橋本委員長が審査した全会計について「可決すべき」との審査結果を報告しました。

陳情1件採択

今定例会には陳情1件が提出され、産業厚生常任委員会(長田守弘委員長)に付託され、3月9日(木)に開かれた産業厚生常任委員会において審議しました。

この付託された案件、陳情第11号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出についての陳情」については、委員会で審議の結果「採択すべきもの」と決しました。

平成29年度鏡石町主要事業計画

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
(被災者支援事業)		
災害援護資金貸付事業	被災者への災害援護資金の貸付	5,000
(原子力災害対策事業)		
道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業(再生加速化交付金)	道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業	354,633
原子力災害対策補完事業	仮置場の維持管理、輸送関連及び原形復旧工など除染完了後の基本的附帯事業	97,270
ふくしま森林再生事業	森林の放射性物質の影響の低減を図る事業	80,000
食品モニタリング事業	食品等の放射能測定事業	6,572
WBC運営負担事業	内部被ばく線量検査するWBC運営負担	3,522
放射線健康対策事業	放射線に対する情報啓発、個人線量計測定	5,929
学校給食食材放射能測定	給食用食材の放射能測定	3,942
風評被害対策事業	農作物放射能汚染検査料等	420
(進化する鏡石実行プロジェクト)		
駅に降りてみたくなる事業	田んぼアート事業	10,450
	駅東口整備事業	550
通りを歩いてみたくなる事業	グリーンロード整備事業	700
	花いっぱい運動事業	1,504
住んでみたくなる事業	婚活支援事業	1,380
(町制施行55周年記念事業)		
町制施行55周年記念事業	町制施行55周年記念式典の開催	4,478
全国あやめサミット開催事業	全国あやめサミットの開催	1,051
オリジナルナンバープレート作成事業	原付1種等のオリジナルナンバープレート作成	500
計		577,901

議員辞職勧告決議 及び意見書1件 可決

この審議結果については、定例会最終日となる3月17日(金)本会議において、長田委員長から報告され、陳情第11号は、産業厚生常任委員会決定のとおり可決しました。

最終日に長田守弘議員から動議として提出された今泉文克議員に対する議員辞職勧告決議案については、賛成多数によって可決しました。

また、次の意見書案を可決しました。

意見書案第8号

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書案



今年度も田んぼアート事業を実施(写真は昨年度事業状況)



長田守弘議員

- 水道料金の値上げと今後の第五次拡張工事について
- 観光の振興事業について
- 子育て支援と少子化対策について
- 職員の通勤及び駐車場対策について
- 税の公平性について

一般質問

産業課長
DCが終了し、県では「ポケモンGO」や「コードブルー」、「ウルトラマンARスタンプラリー」が実施される予定である。町でも周遊観光マップ作成を考えており、交流人口の拡大を図りたい。「かんかん館」は平成29年度中に町コミセンを改修し、30年度からは「まちなか」と

教育長
平成28年4月現在では、第一小学校が67世帯14.4%、第二小学校が20世帯18.1%、鏡石中学校が75世帯21.6%また、事業対象者の過去5年間の推移は、平成24年度は115人、平成25年度

総務課長
本庁舎内の自家用車通勤者は臨時職員を含めて61人である。また、庁舎東側の職員駐

税務町民課長
年間を通じて税徴収の強化が図られ、税法の規定により適切な欠損処理など行ってきた。効果としては、1月末時点の町税全体の収納率は対前年度比2.14%増となった。今後も徴収の強化を図り、税の公平性、安定的な財源の確保に努めたい。滞納の定義とは、納期限内に納められなかった場合をいう。

質 問
ふくしまDC（デザインেশョンキャンペーン）終了後、県や町では今後どのような事業を展開していくのか。また、「かんかん館」をどのように活用していくのか。

質 問
小中学校の一人親世帯の比率及び要保護要保護支援事業の対象者の推移はどうなっているのか。

質 問
職員の自家用車通勤の人数及び駐車場利用状況はどうなっているのか。

質 問
取納グループ設置の効果はあるのか。また、税滞納の定義はどのような場合をいうのか。

質 問
第五次拡張工事の内容と今後の水道料金値上げの予定はあるのか。

質 問
子育てしやすい町といわれているが、その要因とはどのようなと考えているのか。

質 問
平成29年度の少子化対策の予算はどの程度か。

質 問
職員駐車場の有料化は考えられないか。

上下水道課長
今出ダム利水事業の中止により町独自の水源確保に向けて新浄水場の計画がスタートした。平成33年頃完成予定である。予算総額は50億円位で料金値上げは調査研究中である。

質 問
0歳から15歳までの人口割合は14.5%で県内では一番高い。町の魅力としては、「コンパクトな町」、「通勤・通学に便利」、「住居の確保が容易」などが要因と考える。

質 問
現在出産に際しての奨励制度はない。出産祝い金・祝品の贈呈制度を有している県内市町村は42市町村である。

質 問
現在の駐車場の有料化は考えられないか。

一般質問

- 鏡石町における震災復興について
- 鏡石町における公務員制度改革について
- 鏡石町における財政健全化について
- 鏡石町における国民健康保険について
- 鏡石町における上水道事業について
- 公共下水道事業及び農業集落排水事業について



吉田孝司議員

総務課長
再任用制度は、すでに民間企業で義務化され年金受給年齢までの雇用について公務員にも適用した制度であり、本町でも今年度から本格的に採用したものであります。

質 問
国保被保険者証が不交付とされる基準及びその扱い、さらに憲法25条の生存権あるいは国民皆保険制度との矛盾を問う。



浄水場整地工事

上下水道課長
下水道使用料は、汚水処理費用や施設維持管理費を負担して頂くもので水道料金と連動するものではありません。

質 問
文部科学省の天下り問題に鑑みて、再任用の是非に対する町長の見解を問う。

質 問
加入手続きを行わなかった場合の扱いについては、保険証がないため、医療費は全額自己負担になります。また加入資格を得た時点まで遡り自己負担した医療費は給付され保険料を納めて頂きます。

質 問
水道料金の値上げに伴う下水道使用料の設定の在り方を問う。

質 問
上下水道事業の健全経営につきましては、事業の継続性、経費の削減、採算性の判断を行い、効率的で効果的な経営状態を安定的に継続できるように努めていきたいと考えております。

質 問
復旧事業は完了し、現時点における事業総額は96億7千万円となっております。

質 問
政府管掌健康保険を脱退後に、国民健康保険への加入手続きをスムーズに行わなかった場合の扱いを問う。

質 問
不交付ではなく国保税の滞納がある世帯を対象に有効期間が通常1年に対し、6か月以内の短縮した被保険者証の交付基準となっています。また国民健康保険制度はその適用範囲内において憲法に保障する生活ができるものと考えております。

質 問
上下水道事業の健全経営につきましては、事業の継続性、経費の削減、採算性の判断を行い、効率的で効果的な経営状態を安定的に継続できるように努めていきたいと考えております。

質 問
東日本大震災から6年が経過する中で、復旧・復興事業の実績および今後の事業計画を問う。

質 問
町の基幹財源である町税は歳入の約4分の1を占めています。企業誘致や住宅地を確保し人口増加も税収確保につながります。また歳出の面でも事業の精査を図り、最小の経費で効率化に努め財源確保に努めてまいります。

質 問
上下水道事業の健全経営につきましては、事業の継続性、経費の削減、採算性の判断を行い、効率的で効果的な経営状態を安定的に継続できるように努めていきたいと考えております。

質 問
上下水道事業の健全経営につきましては、事業の継続性、経費の削減、採算性の判断を行い、効率的で効果的な経営状態を安定的に継続できるように努めていきたいと考えております。



古川文雄議員

- 小中学校におけるいじめの実態は
- 農産物販売促進の取組事例と成果は
- 子育て世代の行政参加の施策は
- 組織改編での課題は

一般質問

教育長 平成29年1月末現在で第一小学校で4件、中学校1件の認知件数があり、認知された全てのいじめについて、学級担任の指導などの対応を行い、現在、全てのいじめについて解決している。

質問 現代のいじめでは、昔より様変わりし、陰湿かつ複雑化しており、ネット社会により巧妙化し正確な実態を把握することが非常に難しくなっているが、教育委員会、学校ではどのような把握しているのか。

教育長 第一小学校では学期毎に1回の年間3回、第二小学校では毎月1回の年間10回、中学校では学期毎に1回の年間3回の実態調査を行っている。

質問 今年、1月・2月にいじめを起因とした事故が多方面であったが、町内小中学校におけるいじめの認知件数と対応はあるか。

教育長 今年、1月・2月にいじめを起因とした事故が多方面であったが、町内小中学校におけるいじめの認知件数と対応はあるか。

質問 また、携帯等での見えにくいいじめについても毎年所持等の調査も実施し、いじめの早期発見・指導・その後の経過を見て対応をとっている。

質問 町の農産物販売促進の具体的な取組事例とその成果はどうなっているのか。

産業課長 震災翌年に大きく減少した農産物の出荷額は徐々に回復してきているが、風評による影響が未だ残っている。その中でJA夢みなみ管内の市町村と合同で、トップセールスという形でJAを中心とし、東京・大阪市場で農産物のPRをし、風評の払拭の事業を行っている。また、ふくしまの恵みPR支援事業を活用し、首都圏、沖縄県でのPR、バスツアーや農産物ホームページ作成、ベジフルキャンペーンなど、農産物に理解をいただく活動ができており一定の効果はあったものと考えている。

質問 農産物を活用した六次化を企画、検討されたか。

産業課長 補助金を活用しての取組も新年度で3年目になり、今までジェラートや米粉を使ったパンやお菓子など商品開発がされている。

質問 若年層子育て世代の行政参加を促進するための施策を有しているのか。

総務課長 各種計画策定時におけるワークショップなどへの参加やSNSを活用するなど、また、自主的な各種事業、活動に対しての支援を行うとともに、町や行政区などの各種事業活動に参加しやすい環境を整え、魅力ある町とすべく「子育てしやすいまち」を将来像として、各種施策を実施して行きたい。

質問 各種会議、議会傍聴等参加者に託児サービス等提供してどうか。

町長 当然そのようなサービスも必要であると考えますが、行政参加ばかりではなく、病気の時や子供がいるとなかなか用が足せないといった時の一時預かりという事業が、子育てしやすい町につながると思うので、検討したい。

質問 町で取り組んだこれまでの原子力災害関連対策業務の総括と残る課題に対する今後の対応はどのようなものか。

町長 原発に関する除染対策は、3月31日までに完了し、仮置き場の管理は中間貯蔵施設への搬入の作業と現況復旧工事が残る。道路側溝土砂撤去は平成32年までに終了予定である。

質問 また、原子力災害対策室を廃止するが、これらの事業については健康環境課、都市建設課で引き継ぎ、さらに食品モニタリング等々や風評被害対策はそれぞれの担当部署でしっかりと対応していく。



菊地 洋議員

- 障害者差別解消法による町施設等への取り組みは
- 田んぼアートの今後の運営と拝観料を商品券とすべき
- まちの駅「かんかん館」の名称と運営はどうするのか

一般質問

質問 執行は、ユニバーサルデザインの意味を、どのように理解しているのか。

福祉子ども課長 障害の有無、年齢や性別、国籍などに関わりなく、だれもが使いやすいように、公共施設のバリアフリー化など、安全で便利な都市や建物をつくる考え方である。

質問 町の対応として、公的施設のバリアフリー化、町民や事業所の皆様に、トイレの手すりや玄関スロープの設置等を推進し、人にやさしい町づくりの普及啓発を図っている。

質問 今後、町の施設等の改良は考えているのか。また、問題点等はなかったのか。

総務課長 町内の公共施設等は古い為バリアフリーを推進している。久来石転作センターのスロープ、境公営住宅の手すりや役場の手すりの設置等である。2階に上がれない来庁者は、総務課職員が、下に向向いて

対応している。多目的トイレについては、協議していききたい。

質問 障がい者差別解消法では、対応要領を作るよう努めるとあるので、各課でできるものを対応していきたい。

総務課長 障がい者差別解消法では、対応要領を作るよう努めるとあるので、各課でできるものを対応していきたい。

質問 来庁する障がい者には、できる限り職員が積極的に寄り添い、申請、相談に対応する。

質問 デステイネーションキャンペーン3年間実施による、町の経済効果、観覧者はどうだったのか。

産業課長 田んぼアートに約2万人、商工会から今後も継続してほしいとの話がなされている。

質問 今までの実績やネットワークを生かし、効果的な進化す

る振興を図るとあるが、具体的にどう手を打つのか。

産業課長 29年度は、町制施行55周年記念事業として、3年間培ってきた事業のタイアップや広報等を磨き上げ、持続可能な観光推進体制を確立していく。

質問 田んぼアートの今後の運営は、どう考えているのか。

町長 22,000人の見学者を続けている。29年度においては、55周年記念事業として、アニメイラストレーター湖川友謙さんによる絵柄の作成や面積の拡大を予定している。実行委員長は、町長でなくとも良いと考えている。

質問 青森県田舎館村は、拝観料を取っている。町も、商品券を拝観料としたらどうか。

町長 続けられ、そのような方向へ進むと思う。

質問 平成30年度からはじまるまちの駅「かんかん館」の名称は今のままか。

産業課長 周知をする意味で、名称を公募したらどうか。また、議会全員協議会で説明したとおりの運営をするのか。

質問 補助事業申請として、仮称まちの駅「かんかん館」としたが、よく検討していきたい。以前も公募して付けた。新しい目的を持って作り変える。雇用、6次化等の目的をもって関係機関との協議を経て、決定する。

質問 具体的には、商工農一体となった6次化の推進、観光情報発信、交流の場（コミュニティカフェ）、地域産業のチャレンジショップ等である。

質問 オープン後の運営は、どのようにするのか。

町長 1名は、正職員で対応する。30年のスタートに向け協議検討していく。

審議の結果 (第3回 臨時会 平成29年2月27日)

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井上	大原	今泉	木原	渡辺
= A町長「田んぼアート事業、トイレ整備事業などすでに実施しているが、総合的なより実効性のある事業そして起爆剤となるよう実施したい。」														
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	国保事業確定により32,998千円の減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	事業確定により2,561千円の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第3号)	事業確定により68,251千円の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	事業確定及び繰越明許により6,500千円の減額補正、繰越明許費25,725千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
育英資金貸付費特別会計補正予算(第1号)	事業確定により2,270千円の減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	事業繰越により、繰越明許費4,400千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計補正予算(第3号)	事業確定により資本的支出213,000千円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を政府・国会に対し要望するための意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q吉田議員①「統一地方選挙の時期は一昨年ではないか。」②「福島県議会議長会からの要請があったと聞いているが発議されるまでの経緯を説明願いたい。」③「過去の議員年金制度を踏まえ、なぜ今回の厚生年金加入の要望に至ったか町民に対し説明責任があるのではないか。」														
= A古川議員①「一昨年であり訂正願いたい。」②「議長会より3月定例会にて意見書として採択し提出ほしい旨付託を受けた案件である。」③「詳細について議長会より説明されていない状況である。」														
Q吉田議員「③の件であるが、意見書として国会や各大臣に提出することは、町民の総意に基づくものと解釈されると考える。提出者として内容をしっかり把握し町民に説明する責務があると考えるが、提出者はどのような考えで提出するのかを聞かせてほしい。」														
= A古川議員「議会が果たすべき責務が格段と増大していることなどから議員のなり手がいないとの現状から待遇改善が必要であると考えている。」														
鏡石町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の制定	県の教員を町の指導主として割愛採用するに当たり、給与規定を定める条例を制定するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度一般会計予算	一般会計59億5千5百万円の29年度予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q吉田議員「11会計全体の平成28年度末借入金残高、平成29年度借入見込額及び償還見込額並びに年度末残高見込み額について」														
= A総務課長「平成28年度末借入金残高見込額については11,144,828千円、平成29年度借入見込額1,285,700千円、償還見込額720,504千円、年度末残高見込額11,451,765千円である。」														
平成29年度予算	国保会計外9会計の29年度予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出を求める陳情	福島県最低賃金について、政府が掲げる「全国平均1,000円を目指す」との方針に沿った復興促進、労働人口流出に歯止めをかけるための上積み改正を図るとともに、中小・地場産業支援を強化し、最低賃金引き上げの環境を整備し、合わせて最低賃金改定諮問時期を可能な限り早め早期発効を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
今泉文克議員に対する議員辞職勧告決議についての動議提出に対する議事日程追加に関する採決	今泉文克議員に対する議員辞職勧告決議についての動議提出に対し、議事日程に追加することに関する採決	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×
今泉文克議員に対する議員辞職勧告決議について	今泉文克議員に対する議員辞職勧告決議について求めるもの	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	×	退場	×	
<質疑・要旨>														
Q吉田議員①「町民の代表として高い倫理的義務が課せられているとあるが、どのようなものなのか。選挙後であり問題ないのではないか。」②「臨時全員協議会において自ら認めた内容とはどのようなものなのか。」③「町税を滞納することは決して許されるものではないとあるが、根拠となる法令とはどのようなものなのか。」④「議会全体への信頼を損ないかねない」とあるが、個人の滞納問題がはたして議会全体の問題となりうるのか。」														
= A長田議員①「我々は選挙により町民の付託によってこの議会に臨んでいるためである。選挙後であっても問題はいっしょである」と考える。」②「臨時全員協議会において自ら滞納の事実を認め、滞納解消のための納付協議を税務当局と行っていること、また、滞納額についても説明された。」③「滞納していることでの議員への罰則規定はないが、町民の納税意識の低下につながるものである。」④「個人の問題ではあるが、③で説明したとおりである。」														
<反対討論・要旨>														
吉田議員「議員の個人的な税滞納問題を議案として取り上げてよいのか疑問であり反対討論とする。」														
<賛成討論・要旨>														
菊地議員「町の予算つまり税金の中から議員報酬が支払われている。また、議会は12名の議員で構成されており、議会全体の問題であり、このような案件で議員辞職勧告された事例は全国的に多数あり、今回の議決案に賛成である。」														
小林議員「国民の三大義務の一つである納税の義務に反するものである。また、議員必携には町民の代表者として人格、識見ともに優れた議会の構成員なるものであると規定している。議員自ら率先して襟を正し町民と行政の間に立つて信頼関係を維持すべき立場であるが、今回の滞納問題では困難であると考え賛成である。」														
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	福島県最低賃金について、政府が掲げる「全国平均1,000円を目指す」との方針に沿った復興促進、労働人口流出に歯止めをかけるための上積み改正を図るとともに、中小・地場産業支援を強化し、最低賃金引き上げの環境を整備し、合わせて最低賃金改定諮問時期を可能な限り早め早期発効を求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井上	大原	今泉	木原	渡辺
調停について	境西団地宅地内の不同沈下に係る損害賠償請求調停申立事件に関し調停が成立したため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調停について	同上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第4号)	調停成立に伴う損害賠償金を支払うため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q菊地議員「損害賠償金に係る裁判所からの算定根拠は示されているのか。調停に係る費用負担はどれくらいなのか。」														
= A総務課長「建物の損害、地盤の改良、仮住まい費用及び引っ越し費用などである。調停の費用に関しては町職員が対応したためかからない。」														
Q今泉議員「境西団地内で今まで調停や裁判等で解決した件数と賠償金の合計はどうなっているのか。また、同団地内で未解決な不同沈下案件は残り2件であるのか。」														
= A総務課長「訴訟が3件と調停が1件の合計4件で、賠償金の合計が4,435,052,250円である。残り2件については早期に解決が図られるよう協議していくしかないと考えている。」														
Q吉田議員「損害賠償金が後者のほうが多額となっている理由とは。また、申立人が2名となっているが、賠償金の按分については把握しているのか。」														
= A総務課長「申立人が従前自ら修繕した費用及び解体費用が加算されているためである。また、賠償金の按分については承知していない。」														

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

審議の結果 (第7回 定例会)

議案件名等	議案の概要	結果	小林	吉田	橋本	古川	菊地	長田	畑	井上	大原	今泉	木原	渡辺
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	今泉和樹氏(中町)の推薦同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鏡石町コミュニティー・センター設置及び管理に関する条例の一部改正	まちの駅「かんかん館」設置準備のため2階の会議室の改修と商工会事務室の集客室への移設に伴う2階会議室の使用料規定を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	政府の仕事と家庭が両立できる社会の実現を目指した育児・介護休業法の改正に伴い、関係規定を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	同上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q吉田議員「近年の育児休業の取得状況についてお尋ねする。」														
= A総務課長「女性職員は1年から3年の期間で100%取得しているが、男性職員は2名のみが取得している。」														
鏡石町税条例等の一部改正	上位法の改正に合わせ軽自動車税のグリーン化特例の1年延長等に伴い一部を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鏡石町放課後児童クラブ条例の一部改正	利用児童の増加に伴い、児童ふれあい交流館のほかに第一小学校の一部を活用して預かるために一部を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q吉田議員「現在の登録児童数と平成29年度登録予定児童数及び全児童数に対する割合は、また、それぞれのクラブの定員枠はあるのか。」														
= A福祉子ども課長「平成28年度末で1年生35名、2年生47名、3年生31名、4年生11名、5年生7名の合計131名である。現時点での申込状況であるが、151名であり全児童に対する割合は約20%である。それぞれのクラブの定数については規則で定めており、1~2年生の第1クラブが90名、3年生の第2クラブが50名、4~6年生の第3クラブが50名である。」														
財産の処分について	国道4号線拡幅工事に伴い、南部第一工業団地敷地の一部売却について議決を求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q吉田議員「売却に伴う収入金の使途について予定はあるのか。」														
A産業課長「財政調整基金への償還金の財源として考えている。」														
一般会計補正予算(第5号)	年度末事業確定等により10,757千円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q小林議員「繰越明許費の予算について内容と繰越した理由は何か。」①社会保障・番号制度導入事業、②臨時福祉給付金(経済対策分)支給事業、③農業体質強化基盤整備促進事業、④農業基盤整備促進事業、⑤ふくしま森林再生事業、⑥鏡石まちの駅「かんかん館」設置事業														
=①A税務町民課長「マイナンバーカード交付事業であり、交付率が悪かったため繰り越すものである。」														
=②A福祉子ども課長「臨時福祉給付金(経済対策分)支給に係る事務費経費及び給付金であり、11月に国の補正予算が確定となり、年度内執行が困難となったため。」														
=③A産業課長「農地の条件改善の畦畔整備等補助事業であり、国の補正予算の確定時期が遅くなり、年度内執行が困難となったためである。」														
=⑤A産業課長「森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の影響の低減を図る事業であり、国の補正予算の確定時期が遅くなり、年度内執行が困難となったためである。」														
=⑥A産業課長「地方創生拠点整備交付金事業であり、国の補正予算の確定時期が遅くなり、年度内執行が困難となったためである。」														
=④A都市建設課長「久米石南第2地区側溝敷設工事9,277万円、仁井田第2地区側溝敷設工事5,288万円などで、国の補正予算の確定時期が遅くなり、年度内執行が困難となったためである。」														
Q吉田議員①「地方創生拠点整備交付金事業のかんかん館設置事業について、利用促進策を検討しているのか。」②「成田体育館及びプールについての利用計画等はあるのか。」														
=①A産業課長「ワークショップを開催し、各種の利用促進策を検討している。」														
=②A教育課長「現時点では体育館は倉庫として利用しているが、今後の利活用については財源確保の観点から検討していきたい。」														
Q吉田議員「かんかん館の駐車場が狭隘であり、拡張は可能なか。また、駅の利用促進策はJRとの協議も含め検討しているのか。」														
=①A産業課長「現在の駐車場の利用形態を研究しながら関係課と協議したい。また、駅の利用促進策については、今回の地方創生拠点整備事業計画の一つにゆうあいバスの停留所として位置づけしており、町民の誘導策のひとつと考えている。」														
Q吉田議員「駅に降りてみたくなる事業として、具体的な考えを町長に聞きたい。」														

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄